

一般国道116号 新潟西道路

設計に関する説明会



国土交通省 北陸地方整備局

新潟国道事務所

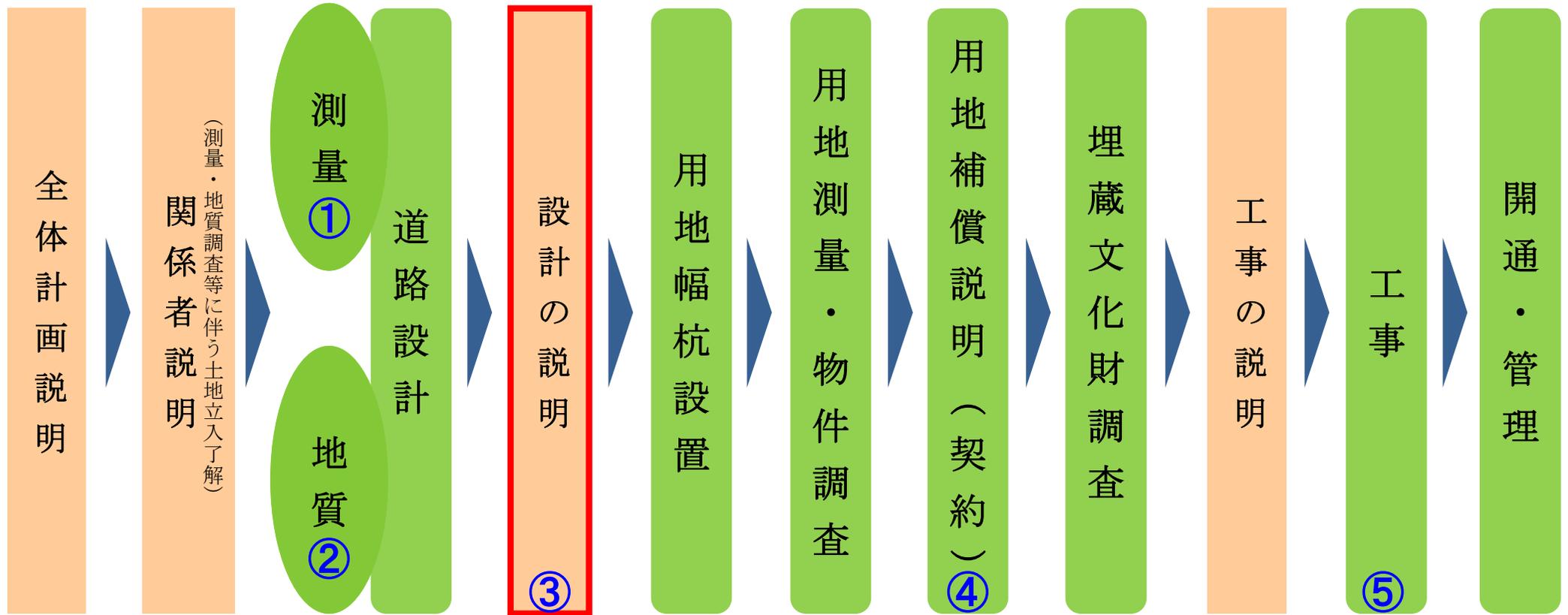
【本日の説明事項】

1. 事業の流れ
2. 国道116号の現状と課題
3. これまでの経緯
4. 設計の説明
5. 令和2年度の予定

1. 事業の流れ

事業の流れ

今回



2. 国道116号の現状と課題 (明田交差点～曾和交差点)

明田交差点から曾和交差点



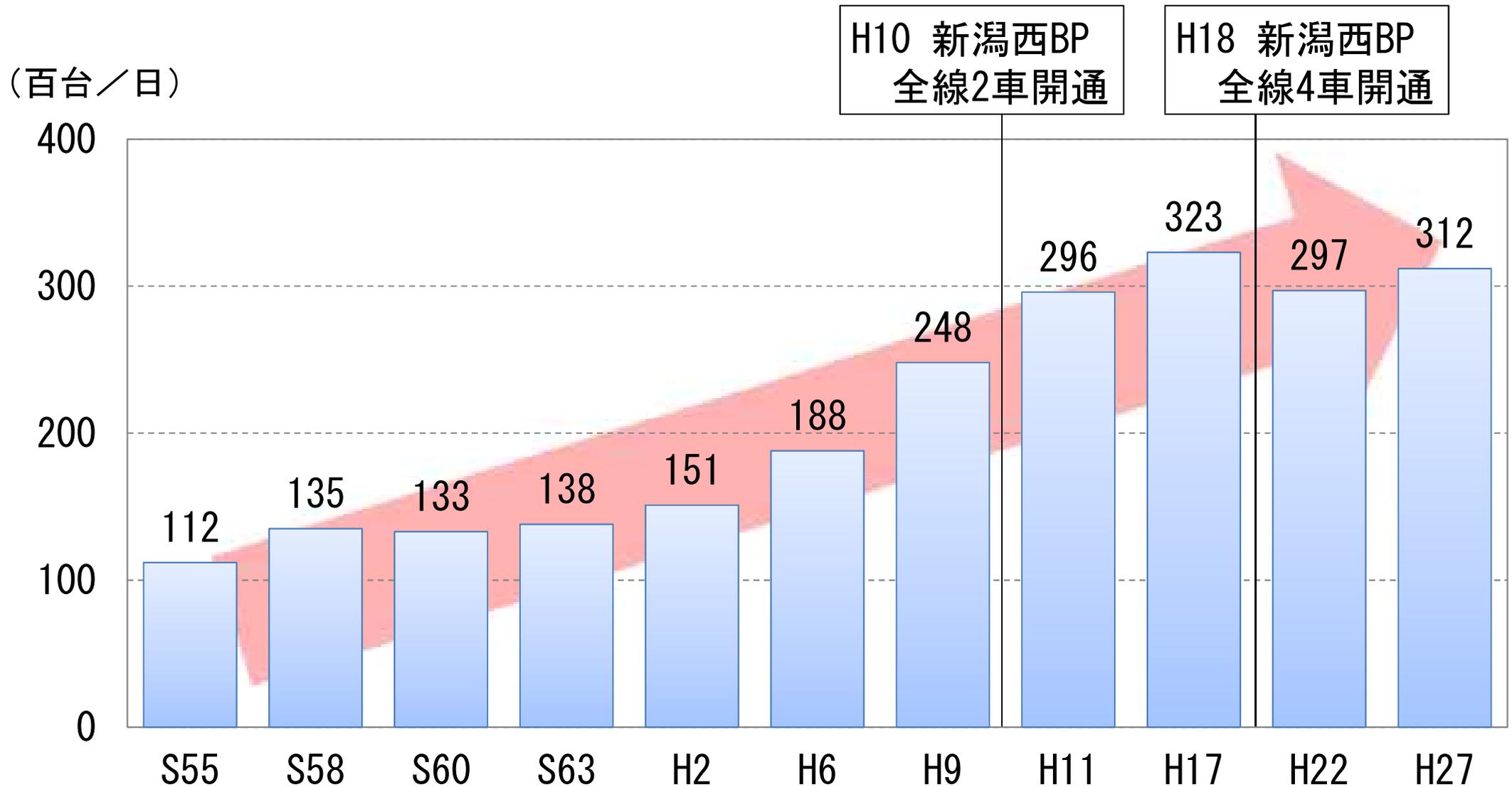
①明田交差点より曾和交差点を望む



②曾和交差点より明田交差点を望む



国道116号 曾和地先 (A-A断面)



国道116号の課題:交通渋滞



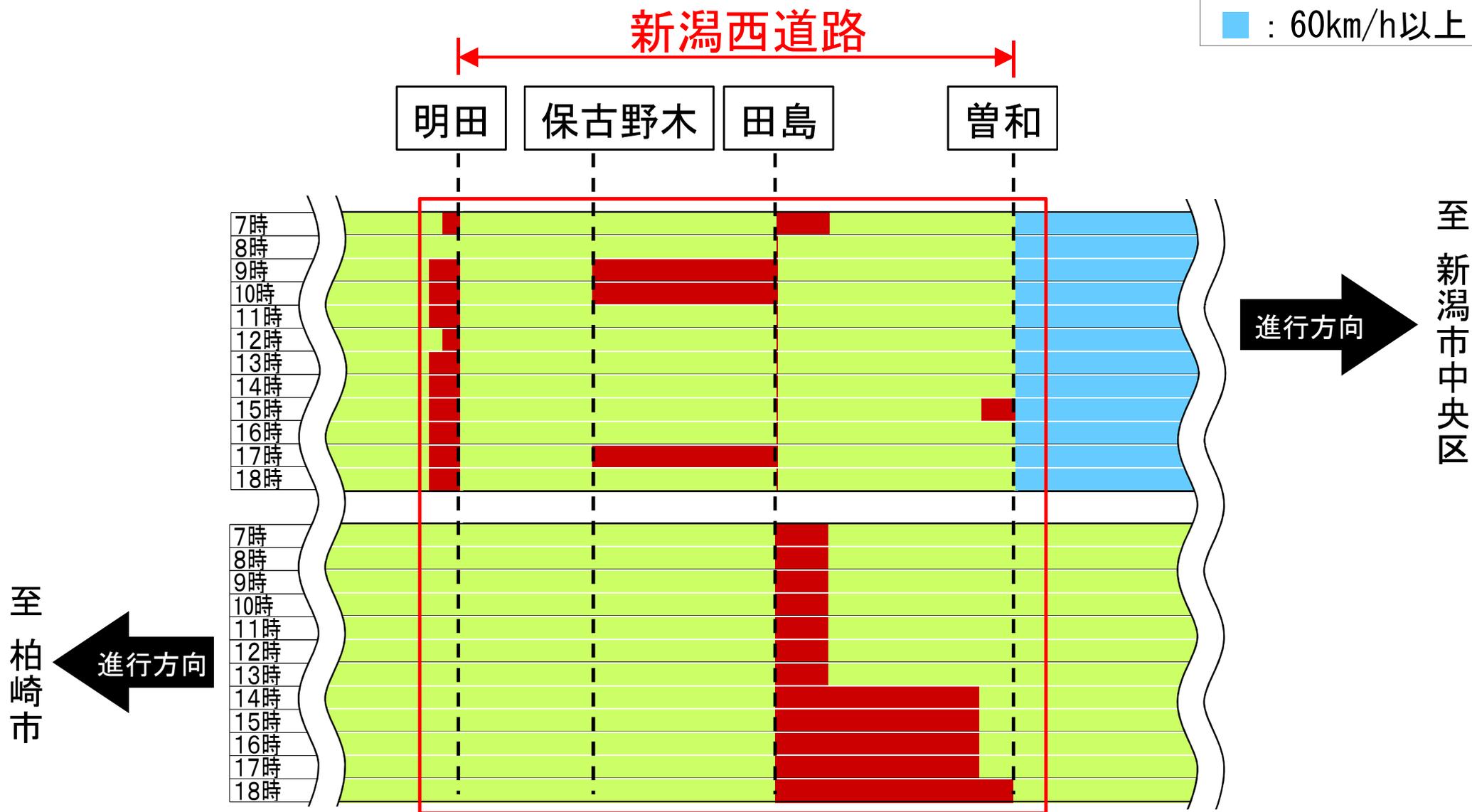
慢性的に渋滞する国道116号

国道116号の課題：交通渋滞

旅行速度（平日）

【旅行速度凡例】

- : 30km/h未満
- : 30-60km/h
- : 60km/h以上



国道116号の課題:交通事故



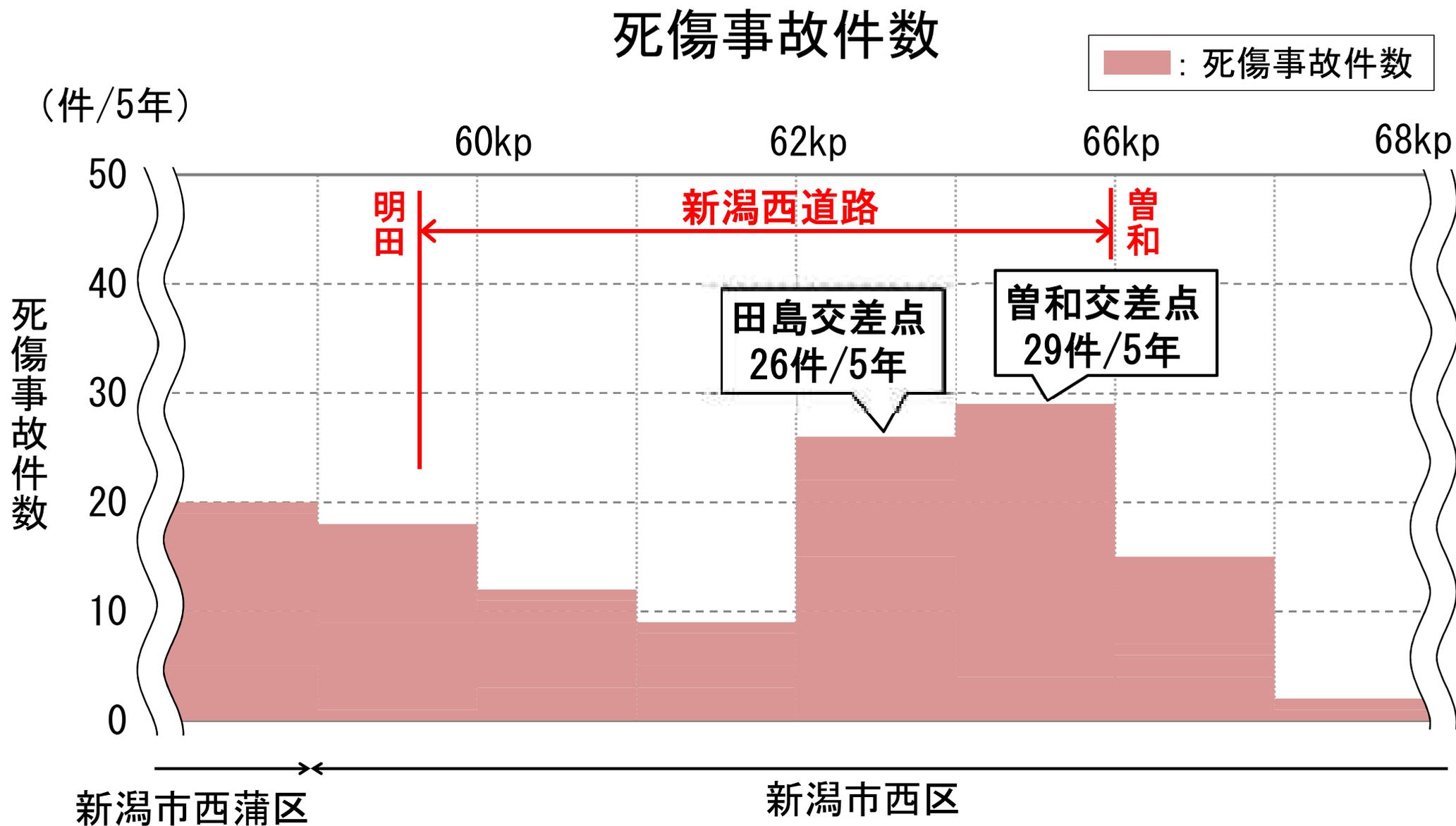
至 新潟市中央区



至 柏崎市

交通事故の状況 (H30.12)

国道116号の課題：交通事故



出典：死傷事故：H25～H29 ITARDA

至 柏崎市



至 新潟市中央区

通学路を通過する車両

国道116号の課題: 抜け道利用



3. これまでの経緯

これまでの経緯(1)

国道116号
(明田～曾和)
勉強会

平成21年3月

～

平成22年3月

- ・ 地元代表者等と勉強会
- ・ ルート帯、交差形状等の検討

都市計画
決定

平成23年11月

- ・ 都市計画決定

有識者等による
新規採択時評価

平成31年3月

- ・ 北陸地方小委員会

新規事業化

平成31年4月

- ・ 新規事業化

これまでの経緯(2)

全体計画説明
(コミュ協単位)

令和元年8月



令和元年8月19日
コミュニティ中野小屋

関係者説明
(自治会単位)

令和元年8～9月



令和元年8月27日
明田自治会

測量・地質調査
↓
道路設計

令和元年9月
～ 令和2年8月



令和元年9月～2年5月
道河原地先

設計の説明
(本日)

令和2年8月



令和2年1月
保古野木地先

4. 設計の説明

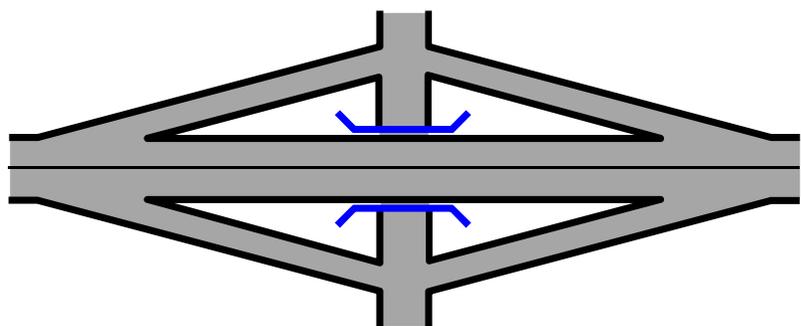
事業の概要: 延長・IC構造(イメージ)

新潟西道路 延長 4.2 km

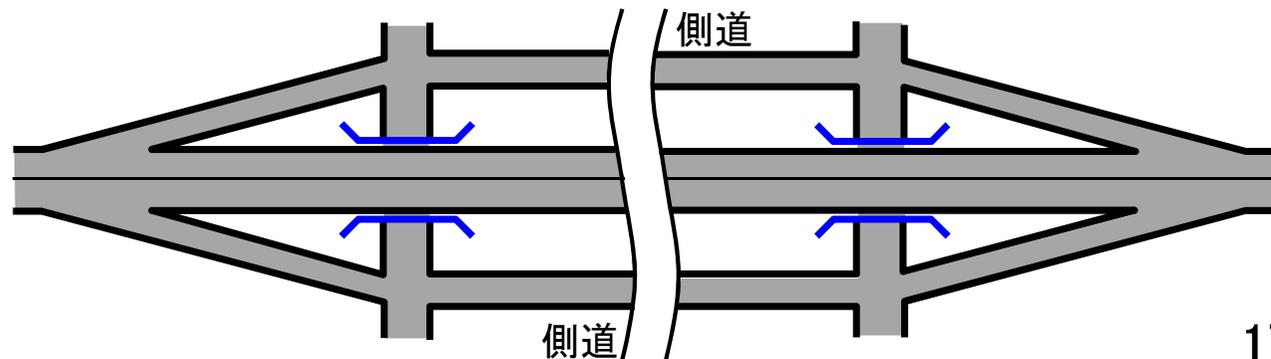


【立体交差イメージ】

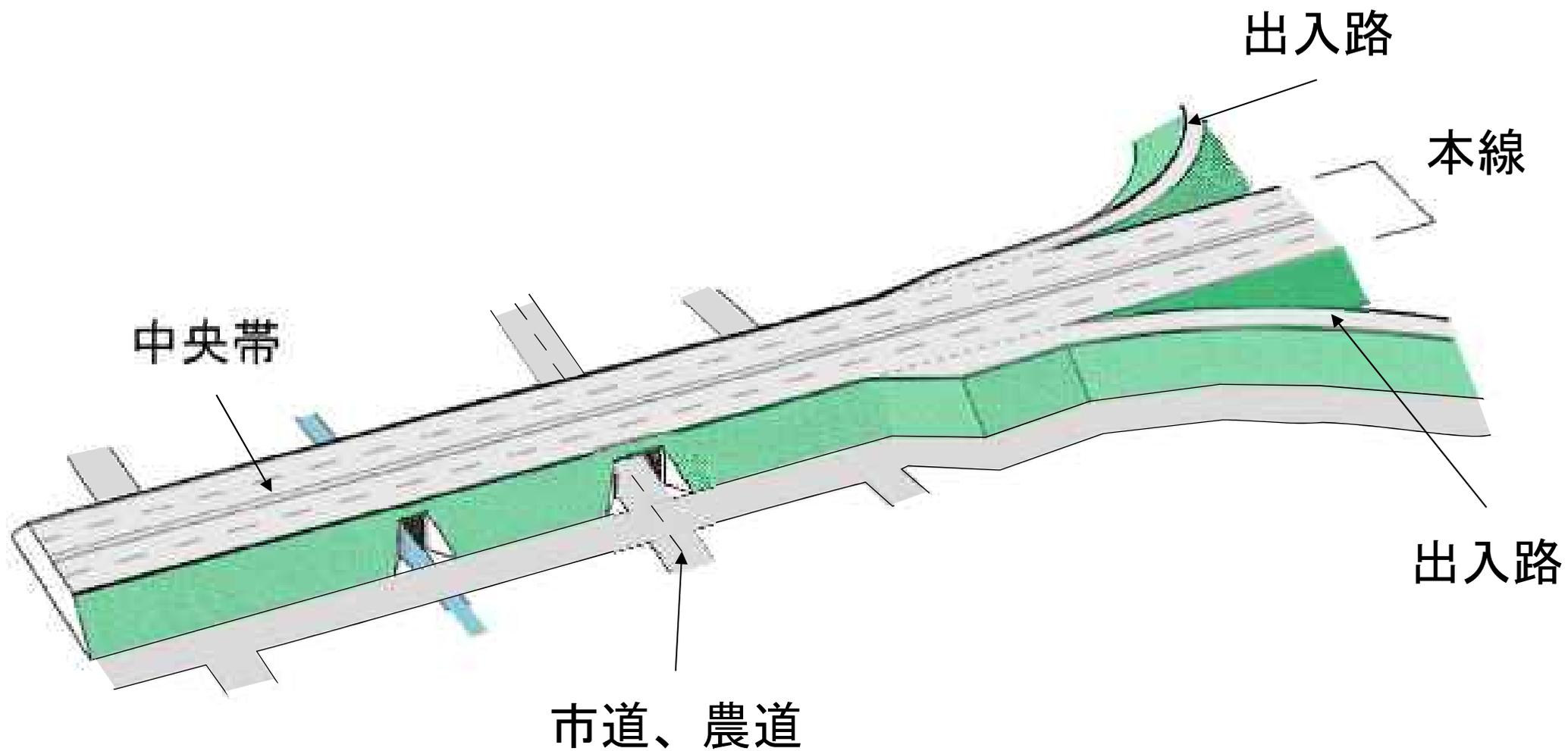
・ダイヤモンド型



・ハーフダイヤモンド型

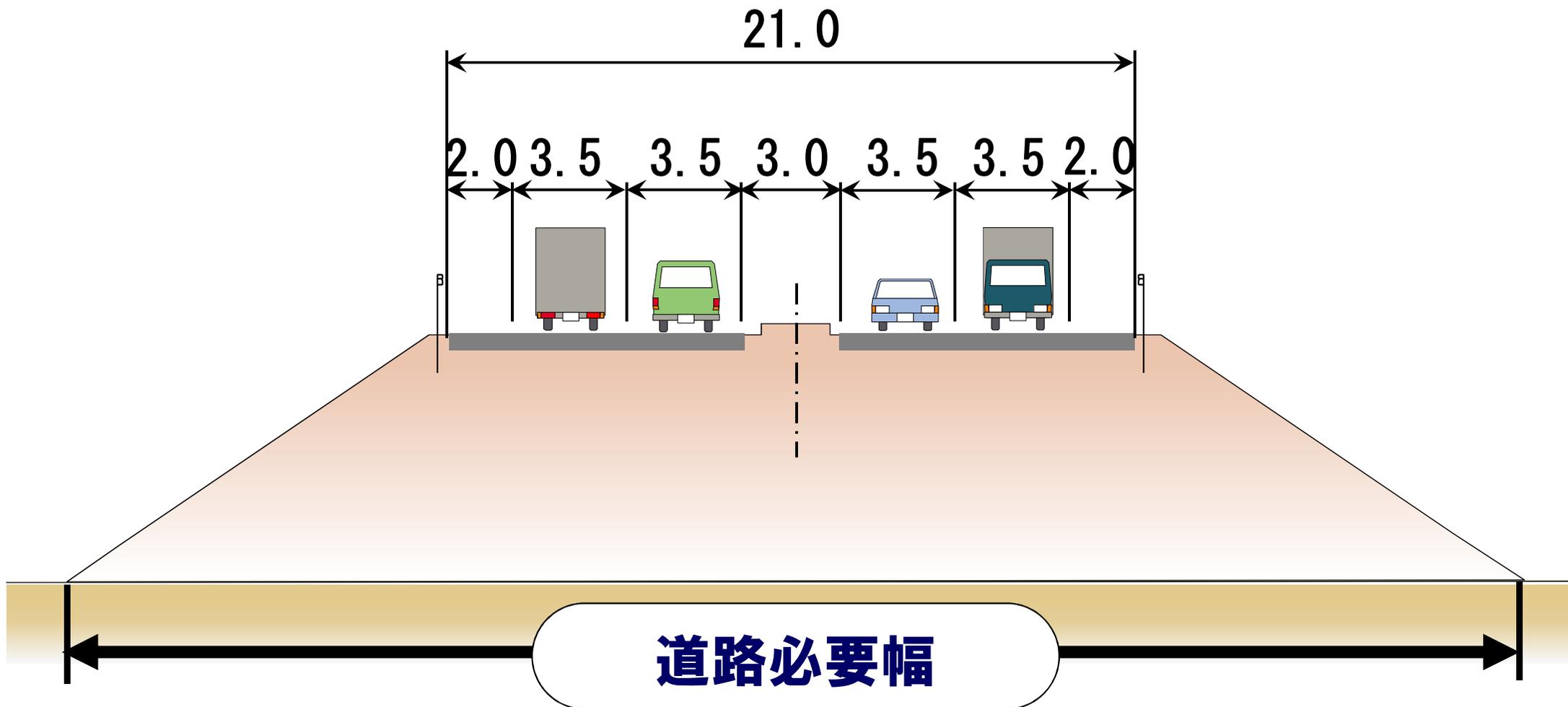


事業の概要：構造(イメージ)



出典：道路構造令の運用と解説

事業の概要：標準横断構成

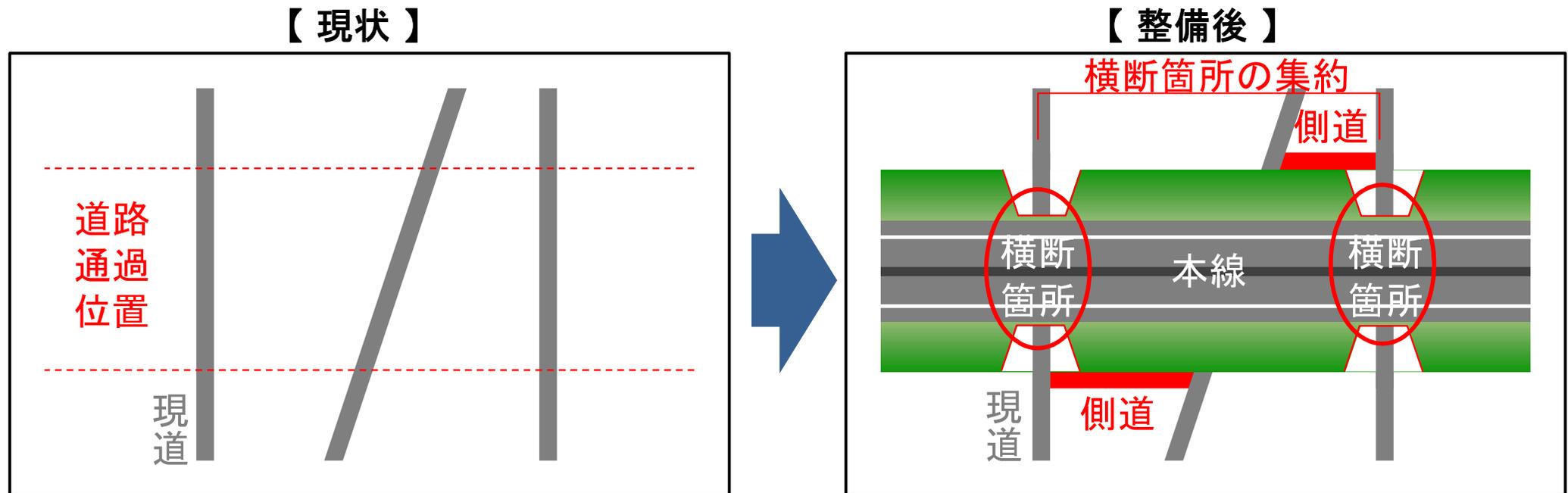


※現地盤の高さにより変動する可能性があります。

1. 本線との横断道路について

(1) 本線横断箇所

- 本線横断箇所は、各自治会最低1箇所設置されるよう、概ね400~500m間隔で配置



(2) 計画幅員

- 現況幅員を確保
(ただし、将来整備計画がある場合は同計画と整合を図る。)

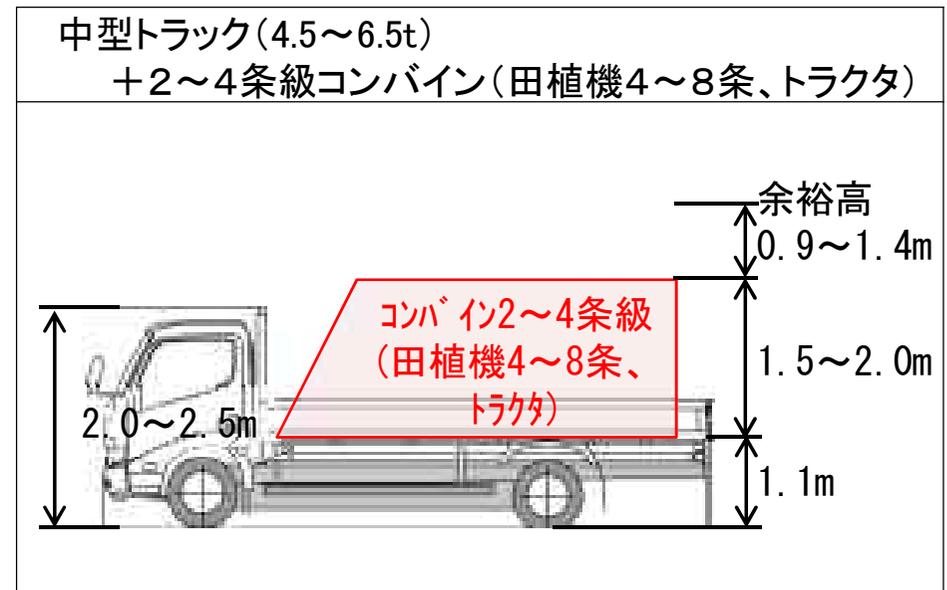
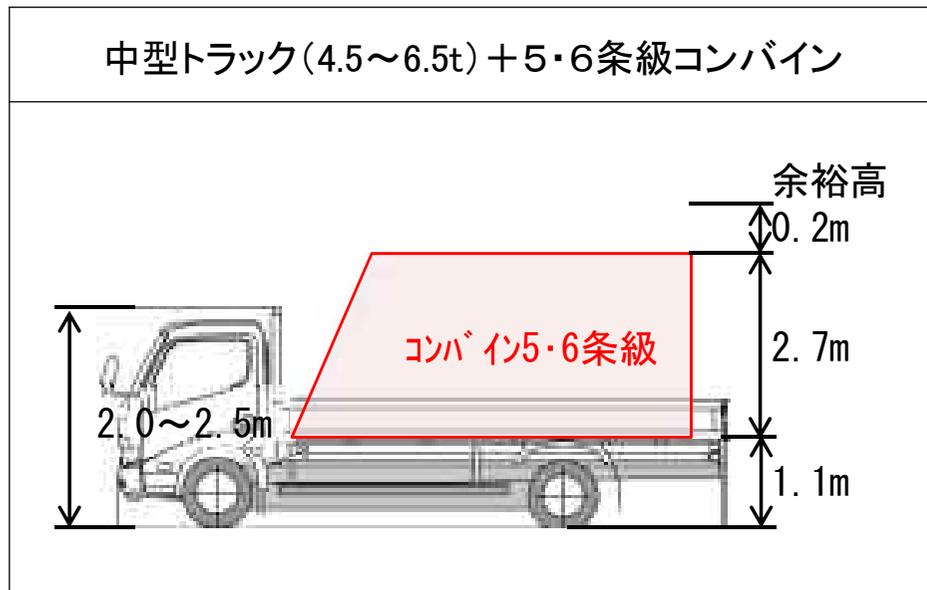
1. 本線との横断道路について

(3) 建築限界（通行可能高さ）

- A. IC交差点（2車線道路） : $H = 4.7\text{ m}$
- B. 西川管理用通路兼市道 : $H = 4.5\text{ m}$
- C. 市道（1車線道路） : $H = 4.0\text{ m}$

■ C. 市道（1車線道路）の建築限界の考え方

市道は中型トラックでの農耕機械運搬を考慮して、4.0mの高さを確保

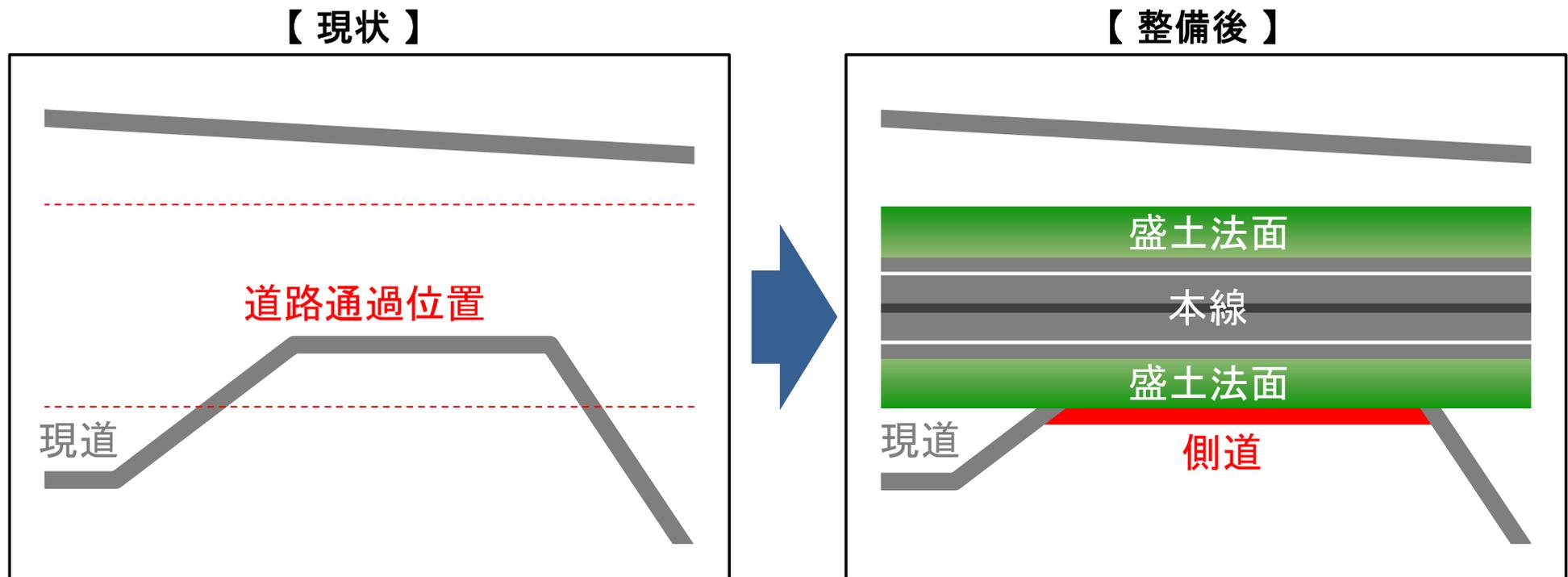


2. 側道（機能補償道路）の構造

(1) 側道の設置箇所

① 通行機能補償側道

- ・ 現状の道路網が寸断される箇所に側道を設置

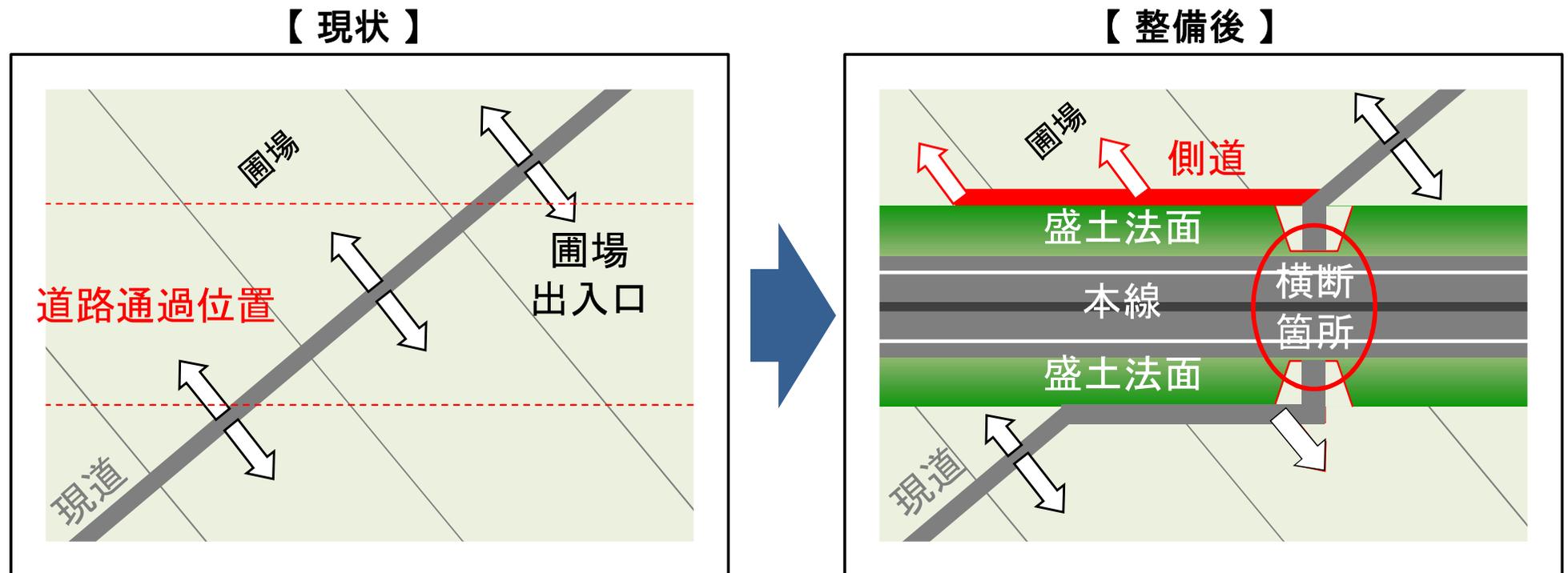


2. 側道（機能補償道路）の構造

(1) 側道の設置箇所

② 乗り入れ補償側道

- ・ 圃場への出入りができない箇所に側道を設置



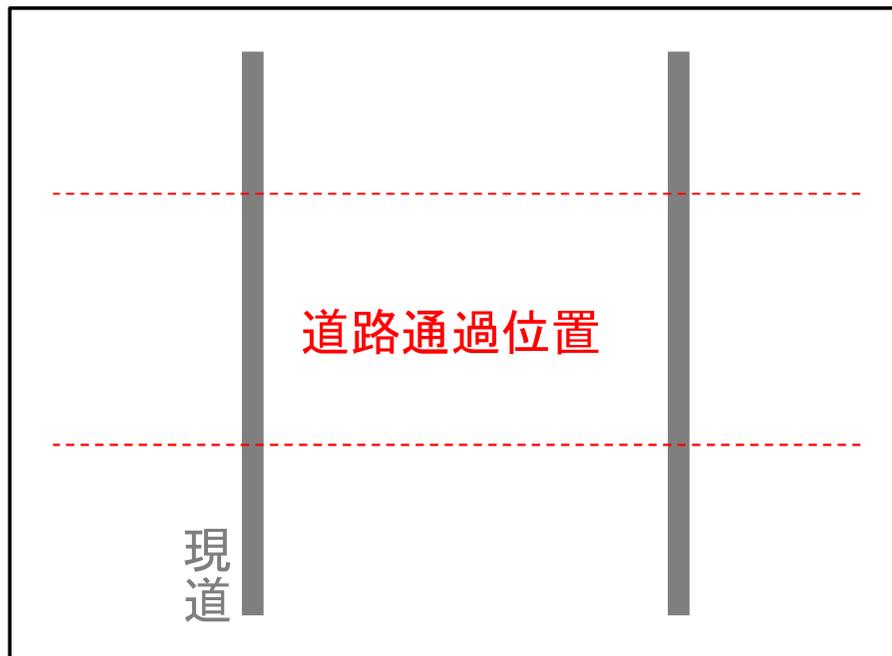
2. 側道（機能補償道路）の構造

(1) 側道の設置箇所

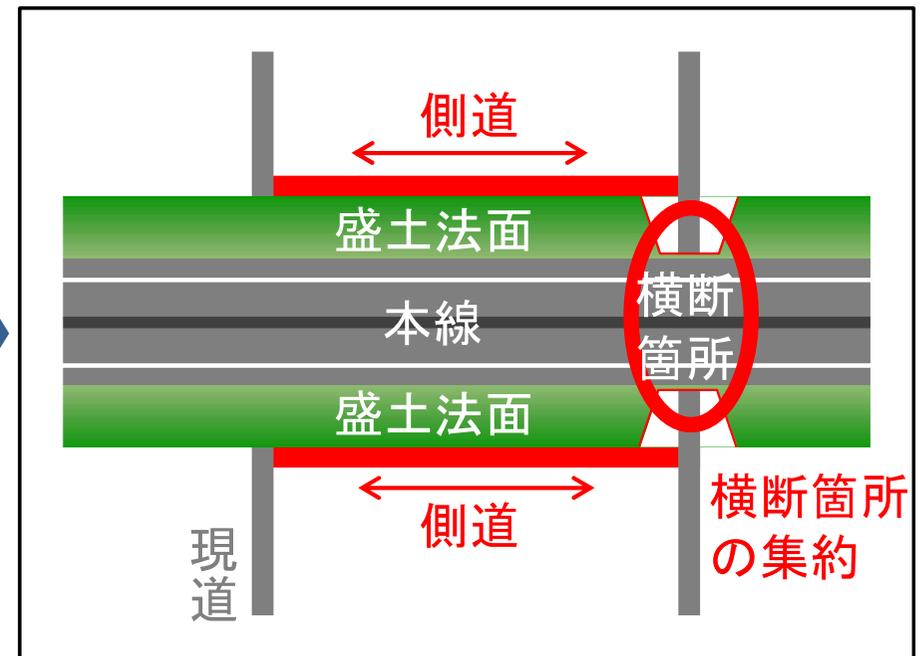
③横断機能補償側道

- ・ 本線横断箇所の集約により、迂回が生じる箇所に側道を設置

【現状】



【整備後】



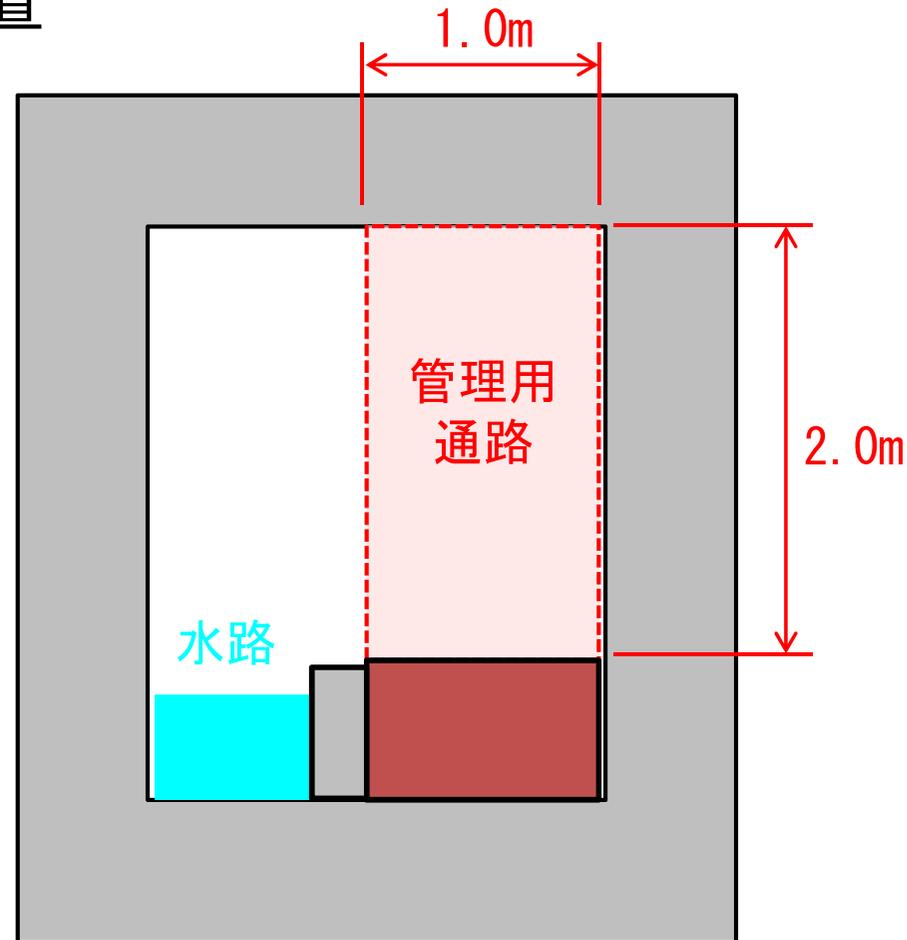
(2) 側道の幅員

- ・ 側道は4.0mを基本とする

3. 用・排水路について

(1) 横断水路の構造

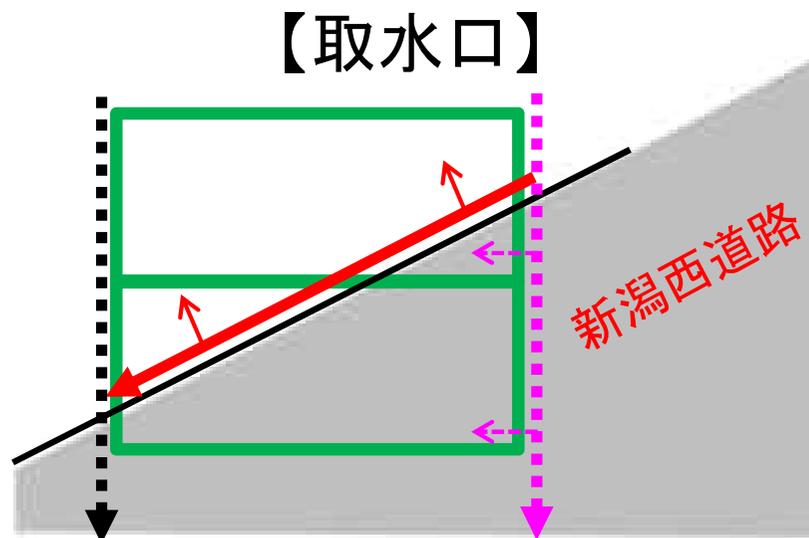
- 横断水路（用・排水路）は、函渠で本線を横断
- 水路の維持管理のために、人が歩けるよう1.0m×2.0mの管理通路を設置



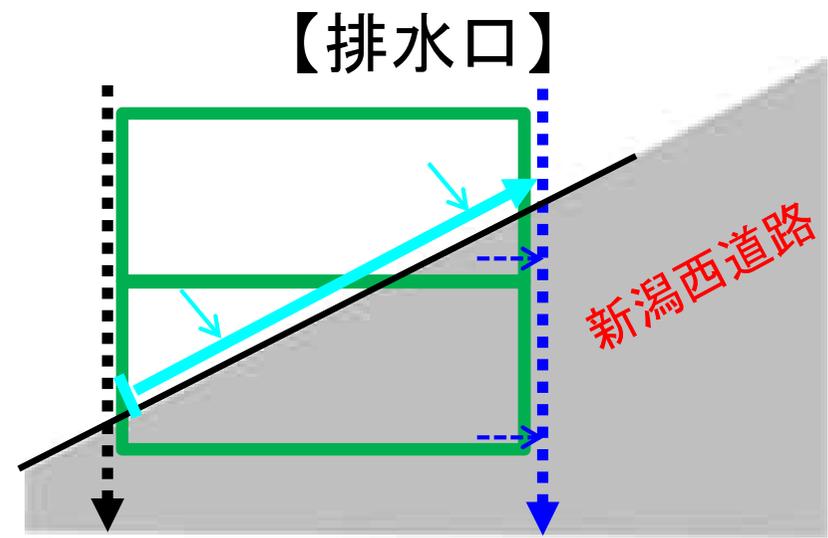
3. 用・排水路について

(2) 圃場への取水・圃場からの排水

- 残地となる田圃への取水口（給水工）機能を損なう場合には、取水が可能なよう、水路を設置
- 残地となる田圃からの排水口（田区排水）機能を損なう場合には、排水が可能なよう、水路を設置



- ⋯▶ : 現況用水路
- ⋯▶ : 現況取水口
- : 計画用水路
- : 計画取水口



- ⋯▶ : 現況排水路
- ⋯▶ : 現況排水口
- : 計画排水路
- : 計画排水口

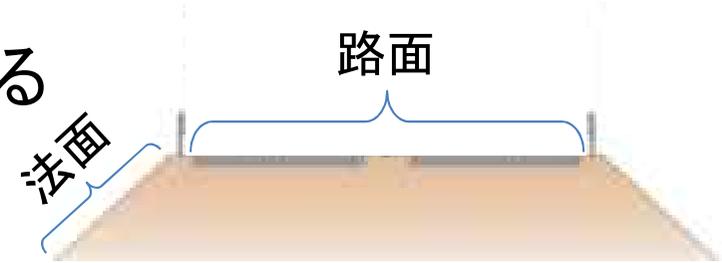
4. 路面・法面排水について

(1) 基本方針

- ・ 降雨地と同一地区内での処理を基本とする

(2) 路面排水・法面排水

- ・ 路面及び法面の排水は近傍の排水路へ流下させる
- ・ 西川、用水路へは流下させない



(3) 既存用・排水路の断面

- ・ 既存の用・排水路の付け替えは、新規流域からの流入（流量増）が無い限り、現況と同断面で付け替える

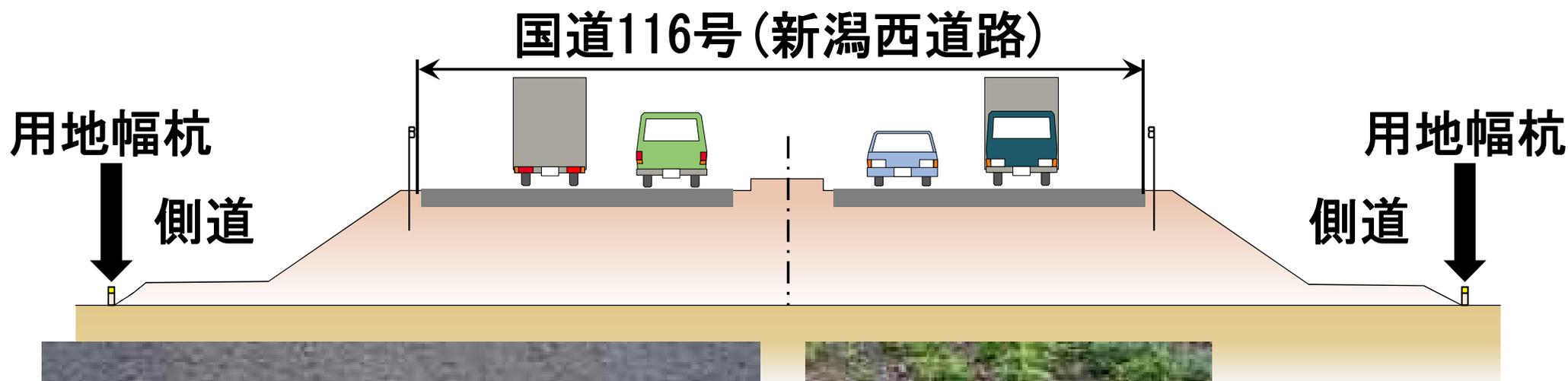
5. 注意事項

- ・ 基本的な考え方を示したものであり、現況の状況や、関係機関（道路管理者、河川管理者、土地改良区、警察等）との協議により、構造等が変わる可能性があります。

5. 令和2年度の予定

令和2年度の予定(用地幅杭設置)

- 道路必要幅がどの程度になるかを現地でも確認いただけるよう、現地に黄色の幅杭を設置します。(10月頃を予定)
- 田植え作業の支障とならないよう、令和2年度中に幅杭を撤去する予定です。



用地幅杭 (木杭タイプ・鋌タイプ)



設置イメージ

**ご迷惑をお掛けしますが、
ご理解とご協力お願い致します。**

問い合わせ先

新潟国道事務所

【道路設計に関すること】 計画課

TEL:025-246-7775(直通)

【用地取得に関すること】 用地第二課

TEL:025-246-7755(直通)